

「なんでやねん！」を集めよう

～オンブズパーソンだったわたしが 子どもたちから教えてもらったこと～

第127回「子ども学」講演会

「なんでやねん！」を集めよう

～オンブズパーソンだったわたしが 子どもたちから教えてもらったこと～

◆プレゼンター ほりけ ゆきよ
堀家 由妃代

佛教大学 准教授 / 障害児教育・教育社会学

◆司 会 西尾 新

甲南女子大学総合子ども学科 教授 / 教育心理学・人間発達論

西尾：こんにちは。今日は佛教大学教育学部から堀家由妃代先生をお招きして、『「なんでやねん！」を集めよう！ ～オンブズパーソンだったわたしが 子どもたちから教えてもらったこと～』を講演して頂きます。

堀家先生は川西市にある「子どもの人権オンブズパーソン制度」で、オンブズパーソンを長い間務めておられました。皆さんは「オンブズパーソン」という言葉、耳慣れないし、もしかしたら初めて聞かれたかもしれませんが、①どんなお仕事なのか？ ②オンブズパーソンが子どもにどんな役割を果たしておられるのか？ 更には、③子どもの権利を守る、子どもたちの人権を守るってどういうことなのか？ についてお話を頂きたいと思っております。

私、大きな失敗をしております、事前に堀家先生から「皆さんにこういうことを聞いて下さい」とうかがっていたのに、皆さんにお伝えするのをすっかり忘れていました。大変申し訳ありません。Moodleの中に、授業中に回答する場所をつくっております。授業を聞きながらでも結構ですし、適当な所で入れて頂ければと思います。質問の内容は先生から言って頂いた方がいいかな？

堀家：自己紹介前から課題のことをいきなり言いますけれども、聞きたいことは2つあります。1つは「学校で皆さんが経験した理不尽なこと」があったら箇条書きでいいので、できるだけ具体的に教えて下さい。「理不尽」というのは何かというと、「え、なんでなん？」ということですね。まさしく、今日の「なんでやねん！」ということなんです。例えば「校則」ね。「靴下がなんかしらん白やった」とか、「キーホルダーはこぶし大まで」とか、「部活内恋愛禁止」とか。あと、校則に書いていないけど、「暗

黙のアレで、なんかあかんかった」みたいなね。あとは、部活の上下関係で「絶対先輩に3回は頭下げなあかん」とか。

これ、あるある。大学でもあったらしいねんけど。例えば、学生さんがおしゃべりして、先生が怒ってむすっとしはって、「お前、そこ、出て行け!」。それで、ほんまに出て行ったらめっちゃキレるって、なんか「理不尽」。「“出て行け!”って言われたから出て行ったのに、おかしいなあ?」みたいなことが、皆さんの学校生活の中であつたかを、ちょっと教えて欲しいなということが1つ目。うちの大学は、男の子・女の子も混ざっている所で、また性質が違うのかな?と思って。

2つ目は、その「理不尽なこと」をちょっと「客観的に」考えてもらって。例えば、先生あるいは学校は、「何でそれを皆さんにしたと、“今”考えますか」ということ。今振り返ってみた時に、例えば「何で靴下、白やったんやろ?」。わからなかったら「わからん」、「今でも理解できません」。そんなんでもいいです。けど、「よく考えたら、こういうことと考えることはできます」とか、「なぜそういうことが起こったと、皆さん自身は理解していますか?」ということが思い浮かべば、教えて下さい。この2点が最初のお願いになります。

西尾: 今日の内容にも、何となくこういうお話になるのかなということが、今の質問からもわかったかなと思います。では、どうぞよろしくお願いします。

堀家: 改めまして、皆さんこんにちは。京都にあります佛教大学という所から、朝1限9時から10時半まで授業をやってから、猛ダッシュで来て、ギリギリでした。佛教大学で教員をしています堀家と言います。よろしくお願いします。

うちの教育学部の学生は、学校の先生、小学校・中学校・高校・特別支援学校・保育園・幼稚園の先生になりたい人がほとんどで、実際にそういう夢をかなえる人が7割以上いて、半ば教員養成学部みたいな感じになっている所です。私自身は「教育相談」とか「教育社会学」とか、「特別支援教育」に関係するような科目を担当させてもらっています。今日も1時間目、そういう話をしてからやってきました。

今、西尾先生にご紹介頂いたんですけども、つい最近まで、兵庫県川西市の「子どもの人権オンブズパーソン」というのを務めていました。聞いたことある人? 神戸市東灘区と川西市が同じ兵庫県にあるって知ってる? 大阪を通らんかったら、絶対外に出られない小さい市です。「子どもの人権オンブズパーソン」というのは市が作ってる機関で、「公的第三者機関」、「子どもの人権を具体的に救済する」という珍しい機関です。

47都道府県のうちに市町村って1,500以上ありますが、そのうちのまだ40カ所ぐらいにしか「子どもの

人権オンブズパーソン」は無いねん。兵庫県の中にもいくつかあるんですけど、残念ながら神戸市には無いですね。川西市のオンブズパーソンは超レアなだけでなく、老舗・トップで、今から20年以上前にできた組織です。「オンブズパーソン」ってなんやろな？ そういう役職を務めさせてもらっていました。ということで、早速本題にいきましょう。

（絵を見ながら）さて、これ、知ってる？ 見たことある？ 初めて見た？ 誰これ？ 知ってる？ 歴史詳しい子に聞いたら、「聖徳太子と言われているが、それは…」みたいなこと言うから。聖徳太子って何した人か、知ってる？ 社会の資料集にあったやん。何かしたり、何かしたり…偉い人やろ？

私とか西尾先生が若い時には、先生、お札の柄にありましたね？ 実はこのおじさん、1万円札と五千元札のイラストに同時になる位、超有名な人なんです。じゃあ、この両サイドは誰やと思う？ 愉快的な仲間たちの両サイド。小野妹子、絶対誰か言うねん。でも小野妹子じゃないし。小野妹子の性別は何かわかってる？ じゃ、とりあえず置いとこか。誰かわからんけど、じーっと見といてね。

もう1個イラスト見てね。これ見たことある？ この小さい方は誰でしょう？ 小野妹子ちゃうで。あつ、キリスト。そうなんですよ、ってことは、横の人はだあれ？ キリスト抱っこしている人は誰？ マリアやね。キリスト教の母子像です。彫刻になったり、色んな絵師の人が描く絵です。

じゃもう1個イラスト見てね。これも誰か？ 私もわからんねんけど、もう1個だけ、見て欲しいねん。家族が食卓を囲んでるシーンです。首の角度がおかしいやろ？

この3つ絵に「共通すること」があるからいちいちこれ持ってきてんけど。何かな？ っていう所ね。時間ないから先に答えを言うと、両サイドにいる人は、この人（聖徳太子）の子ども。母子像も、抱っこしている人の子ども。最後のファミリー、手前にいる3人が子どもやねんけど、この絵見てさ、変なことない？ この3つに共通する「変なこと」。誰かわかる人。何か変じゃない？

全部「子ども」やねん。何が変？ 「母子像です」って言われたけど、絵をみて「かわいい赤ちゃんです」ってなる？ 「素敵なお母さんやね」、と何でなれへんの？ 顔がどうなんや？ 顔が似てる？ それは親子やからいいんやで。他には？

じゃ、何歳ぐらいだと思う？ 抱っこされている方は何歳に見える？ 誰や、30歳言うたん。何で、30歳と思ったん？ 「大人っぽい」って言うてくれたね。「大人っぽい」って何だ？ めちゃくちゃこの人、賢^{かしこ}なってんねんで、今。「大人っぽい」ってどういうこと？ 顔も老けてるし、体つきは？ 大人？ 大人とはどういうこと？ 賢いな、もうちょっと言うて。体つきが「大人っぽい」ってどういうこと？ 子どもと違うって、どういうこと？ すごいな、みんなの助け合いの文化。

絵の子どもは、割と成長しきっている。これ、赤ちゃん描いているのに、おかしい？ 赤ちゃんっ

て、大体どういう体つきかわかるやんね。もっとぽっちゃりしていて、頭と体のバランスは、みんなのバランスと違うやんな。赤ちゃんはもうちょっと、ゆるキャラみたいなバランスのはずやねんけど、これ、おかしいよ。顔、老けすぎちゃう？ みんなそっくり家族で。顔そっくりなんはええねんけど、みんなが思う「子どもらしさ」が無いんちゃうかなと思って、今日これを持ってきている。

もう1個言うと、これ、おかしいのわかる？ これのおかしさは、もう1個あるねん。なんやろ、おかしい所。首の角度が一番おかしいけど、みんな手をあわせているのも気持ち悪いけど、なんか気がつくことない？ 観察して、よう見て。なにになに？ みんな座ってるのに、後ろのこの人立ってる。お手伝いする人かもしれんね。足、短い。確かに足短いかもしれんね。私らが思う西洋の人のわりにはね。他になんか気がつくことない？ これ、ファミリーの食事風景って変やない？ 立ってお手伝いする人がいて。気がついたことある人。一夫多妻制、それはちょっと妄想や。

おしゃれな人、気がつかへんか。何で私がおしゃれな人って言ったと思う？ お揃いコーデやろ、全員。こんなことある？ 敢えておそろいコーデしてるの？ 絵を描いてもらうから、映えるようにしてるの？ じゃなくて、オチを言うと、昔々は「“子ども”という概念」が無かったってこと。だから、「子ども」ってこうだよな、体はぽっちゃり・顔はぽっちゃり・子どもらしい動きやすい服を着たり・かわいい服を着たり・女の子だったら女の子らしい服を着たり・男の子は男らしい服を着たり、みたいなことをごちゃごちゃ言い出しているのは結構最近のことで、このイラストに描かれている時代は「子ども」なんて無かったん。「そんな言うけど、子どもはいるやん」、と思うやん。「概念として“子ども”」が無かった。これもおかしいやん。子どもやったら4頭身ぐらいで描いたらいいのに、やたら顔も老けているし。絵を描く人が下手なんじゃなくて、「“子ども”という概念」が無いから、子どもが「小さな人」・「サイズが単に小さくなるだけ」と認識されて絵に描かれちゃう、ということなんやね。

「“子ども”という概念」は、昔、私らがホモサピエンスが生まれ落ちた時からあるんじゃないくて、結構最近の話です。子どもだから子どもらしい服装なんていうのは、「子どもって何か？」とか「子どもらしさ」みたいなものが出てきて初めて成立する概念。子ども服屋さんなんてありえへん。お揃いコーデしているつもりはないんだけど、子どもも大人の着ているのを、サイズ感を小さくしたやつを着といて下さいということ、大人も子どもも同じ格好やったということやね。

「子ども」って非常に最近の概念だということで、日本でも「7つまでは神のうち」という昔々の言葉があつてね。何かというと、日本昔話の水車ぐるぐるの時代は、病院なんて無かったし、もちろん救急車も無かったし、小さいうちに命が奪われちゃうような病気になったり、怪我がひどくて命が奪われる子どもがたくさんいたんだよね、1～6歳ぐらいまでは。だから、7つ・8つ・9つで「つ」がつかなくなっ

て「10」^{とお}になれば、立派な、要するに「労働者」として働けるわけやな。野良仕事を一緒にする、農業と一緒にする、コミュニティになる、小さな人間として認められる。7つぐらいまでは、病気で亡くなって神様のもとにかえっちゃうかもしれへん。それを超えたら私たちと同じ労働者として働けるかもしれない。昔の日本でも同じように、「子ども」という概念はさほど大事だととらえられていなかった。本当に「子ども」というのを意識したのは、最近のことです。

さっき、10歳になったら野良仕事をみんなですと言ったけど、労働者として扱われるわけ。でも、今日本でやったらアウトやろ。子役の子どもたちも夜遅くまで働いたらだめでしょう、児童労働になっちゃう。昔々なんかね、13歳とか14歳とか、結婚したくもない相手と結婚させられて、妊娠・出産とかさせられて。地球儀でグルグルって見たら、今でも世界中の色々な所で児童労働とか児童の結婚（自分が決めたんじゃない結婚とか出産）とか、子ども兵士があつて。今、戦争が色々な所で起こっているよね。そこでかなり出されているという意味では、本当に「子どもの著しい権利侵害」が世界中でたくさん起こっています。もちろん、日本もかつて「子ども」という概念が薄かった時には、子どもは児童労働の対象であったり児童結婚の対象だったりしたわけ。

でも今はみんな「子ども学」で習ったように、世界中で「子どもの権利」というものが確認されていて、日本もちろん「子どもの権利条約」に批准しています。子どもに関しては、①生きる権利、②育つ権利、③守られる権利、④参加する権利 等々をちゃんと尊重していこうという風になっています。

日本は、「生きる権利」、病気になっても病院へ連れて行ってくれる。大半、大半やで、あくまで。それから、「育つ権利」。学校、大半の子は行かせてもらえる。勉強する権利、あるやんね。義務教育も整備されているし。大半やで、あくまで。「守られる権利」ということで、虐待や搾取から守られる権利を持っていることが認識されているはずです。一番著しく日本社会の中で課題にされているのが、4つ目の「参加する権利」です。病院とかはそこそこにあるし、色々なニュースで、①②③に関しては守っていこうという雰囲気はあるけど、ルールを守り自由な活動に参加できるという「意見表明権」って、要するに「自分の意見を言う」ことがなかなかできていない。

親にさせられていて、嫌やった習い事ない？ 習いたくもないのに、何で習わされたんやと思う？ お兄ちゃんが行ってたから。あるあるやね。上の兄弟がやってたし「あんたもやり」、みたいなね。今考えたら、嫌々行ってたみたいな習い事、ある？ プール、わかるわ。プール、すぐさせるねん。私も3歳の時に子どもにプール行かせた、嫌々。ある日ついに親に「やめるわ」言うたら、やめさせてくれた？ それはいい親やね。

私の同級生。子どもが小さい時、7歳と5歳の男の子に、全身運動がいいとか何とかがいいとか、親心

やね、プール習わせてん。ある日、朝ご飯食べながら、長男がバンッと立って、私の友達に「お母さん」って。お母さんが「なに？」って言ったら、「今日はプールの日ですね」って言い出してね。お母さんが「そうやで。バス乗ってや」と言ったら、長男が「お母さん、僕と弟、プールに行くなら、僕たちは今日死にます」って言うてん。めちゃくちゃショックやん、自分の子どもにそんな言われたら。

ほんで初めて、自分は良かれと思って、それこそ権利やし、育つ権利あるし、すくすく育て欲しいと思ってプール行かせたんやけど。子どもにとっては地獄やったんやなって。死ぬぐらいやったら行かなくていいですとなって、その日からプールに行かせなくなったんやって。親は気づかないんだよね。子どもが朝、死ぬ表明を言うまで、気づかないんよね。今やから笑えるねんで。その時の子どもやったら地獄。大真面目やんな。弟も守らなあかんしね。

大真面目に子どもは意見表明したんだけど、意見表明するの、なかなか勇気いるよね。今日も「誰かー」、と言っても言わへんね。マイク向けたら言えるねんけど。言えるポテンシャルをみんな持つてるねんけど。家庭教育でもそうやし、学校教育でも言わせてくれへんから、なかなか言いにくいねんな。「はい、誰でも言っているのよ」と言っても、何も言わへんやんか、みんな。じーって、「誰が言うんやろ？」と思って見てるでしょ。後ろの方の人、ラッキーと思ってるでしょ。私あとでまた行くよ。

「意見表明権」って、意見言うだけじゃなくて、実は大事なのは「何で言えへんのかな？」というのを考えた方がいい。「聴いてもらう」ということが大事なんや。わかるかな？ 「意見を聴いてもらえるか」、「聴いてもらえるチャンスがあるか」ということ。聴いてもらえへんかったら、みんな言うの諦めるやろ？ 「意見表明権」というのは、「聴いてもらうということとセット」やから。

プール事件は悪い事件やってんけど、この子どもは、聴いてもらえると確信があったから、朝パン食べながら意見表明したわけ。このお母さんになら聴いてもらえるというのがあったから。だから「聴いてもらえる」というのは、実は「意見表明するのとコインの裏表」で、とっても大事。

だから「人の声を聴く」というのを、川西のオンブズパーソンでやっていますという風に、めちゃくちゃうまいことつなげたので、川西市の話をさせていただきます。

川西市はほんまにちっちゃい自治体です。14万人ぐらいしかいないです。18歳以下人口が2万人ちょっとぐらい。小学校が17校、中学校が7校、特別支援学校が1校となっています。川西市「子どもの人権オンブズパーソン」というのが、子どもの人権に特化した「公的第三者機関」の先駆けで、1998年から開設されています。

例えば、今日、22年次の報告書から、もう私その人間じゃないのでお借りしてきたんですけど、「子どもの最善の利益」、権利条約にあるやつです。「子どもにとって一番いいこと」を目指して問題解決到

達。これ難しいんだよ、何がいいことか。さっきも言った、良かれと思ってプール習わせたら「いやや」言うしね。「子どもにとって一番いいこと」は難しいですね。

子どもの権利が守られるようにと書いているけど、どうしたら子どもの権利が守られるのか？ 非常に難しい。権利って曖昧でしょう？ 目に見えにくいし、難しいんやけど、これはやっぱり子どもから色々教えてもらうことで、なるほどと。子どもの権利って、こんな風に侵害されていたり守られていたりするんやなど、私自身は子どもさんから教えてもらうことが非常に多かったように思います。

個人的には最初、仕事に就いた時、正直言うと、「何で“公的第三者機関”というものがあるんやろ？」と思ったんです。「こんなん無くてもお互い仲良くできたらいいやん、仲良くないからこんなんあるんやしょ」って思ってたんですけどね。もう、マジであった方がいいって今は思っているんです。どんな仕事かは、またHPを見て下さい。

私は「オンブズパーソン」という偉い人だったんですよ、なんかよくわからないけど。私が行った時には、大学の先生がもう1人いて、もう1人弁護士さんの3人が、一応偉い人って。別に何も偉くもなんともないんですけど。それとは別に、4人相談員さんというメンバーがいて。相談員さんたちが、主に子どもさんからのSOSを引き受けるとなっていて。一番最初に「はい、子どものオンブズパーソンです」って電話取り次いだりするの相談員さんになります。

例えば15分ぐらい電話してね。相談員さんが個別に話を聞いて「ああ、すっきりした。ありがとう、バイバイ」というケースもあるし、「やっぱりうち来てくれへんかな？ その話、もっと詳しく聞かせて欲しい」「OK、行くわ」という形で、直接的な対面での相談になるパターンとか色々あって。相談すると、その4人の相談員さんのうちの誰かが担当として引き受けることになります。

担当の相談員さんと例えば3回ぐらい話をして、「もうすっきりしたわ」「問題解決したわ、バイバイ。ありがとうね」と帰って行くようなケースもあれば、これは保護者の方と話をしなくちゃいけない、あるいはこれは学校と話をしなくちゃいけない、これは別のどこかの機関と話をしなくちゃいけない、話がこじれてきそうやな、というケースはオンブズパーソンの出番。

私らが「なに、なに？」という風にきて、これはもしかしたら、子どもが話をして気分的にすっきりしたら終わる問題じゃなくて、「川西市の中にある制度上の問題があるのと違うか？」、「大人と子どもの権力関係をめぐる色んな制度の問題があるから、子どもがこんな問題に陥ってるんちゃうかな？」、というでっかい問題になってくると、私らが入って行って救済をすることになります。でも日々はね、本当に、相談員さんがしっかりと根気強く子どもさんにつき合ってくれているおかげで、私らが仕事ができるという立てつけになっています。

それで、相談して個別に救われてバイバイという場合と、制度を変えて下さいという場合があります。例えば、市長宛に私がお手紙を書いて、「市長、川西市のこの制度やバイから、もうやめて下さい」とか、「是正して下さい」とか、「この制度の中のこういう所に関しては、こういういいことをもっと追加して、もっと子どもが生きやすくして下さい」、という風に改善を求める。あるいは、教育委員会とか然るべき組織に向かって、そういう「勧告意見表明」って難しいこと書いてありますけれども、文書でお伝えするということが結構あります。

2022年度は、コロナがちょっと緩和されたぐらいですかね。年間ケース数は53件、そんな多くないやんと思うかもしれへんねんけど、年間相談者数が109人。でも、ちっちゃい自治体やからね。年間相談数700件ぐらい。だから 700件の相談を4人の相談員さんがやっているとなったら、4人で割ってみて。年間相談者が引き受けている回数、わかるよね。とんでもない回数していて、1件13回会うということは、13回以上会う人もいる。例えば2年とか3年とか相談する人もいれば、さっき言ったように15分でバイバイっていう場合もあるということ。

複数回関わったケースが8割強。これが最近の傾向で、要するに15分しゃべって「すっきりしたわ、バイバイ」というケースがめっちゃ少ない。「やっぱりあかん、やっぱりあかん」みたいな感じで悩みがなかなかすっきりしなくて、たくさん回数を重ねるというケースがあつて。超シビアな深刻な話を友だちと1時間したら、家に帰った時にすごい疲れへん？　すごい友だちを助けてあげたし、気分的にはいいんやけど、体はめっちゃ疲れるやんね。相談員さんはそれを、年間、とんでもない回数やってくれていることになります。

中身的に何が多いかというと、これは最近の傾向ですけど、不登校。学校行けてへんというケースは結構、とんでもなくあるんです。が、ほんまに多いのは、家庭生活、家族関係と書いているけど、友だち同士のトラブルとか、進路で悩んでいるとか、そんなんは一定数いるねん。いじめられたというのも一定数いるんやけど、ゼロにならない形でじっとそのへんを推移してんねん。

例えば、進路で悩んでいますと来てね。「ちょっと難しいから、堀家さん入ってくれへんか」と相談員さんに言われてね、「うん、いいよ。話聴くわ」と聞いて。

中3で高校生になる時に、進路変更したいんです。今までこういう勉強頑張ってきたんですけど、新しいこんなことに興味がわいて、でも親を説得できないから困っているみたいな話。なるほどなるほど、親を説得できないんか。進路の問題やな？　あっちもいいけどこっちもいいし、進路どうしたらいいかわからへんねんと、最初ずっと進路の話しててんけど。

ようよう聞いたら、お父ちゃんとお母ちゃんの進路希望が全然違ってて、その間に子どもが入って、

どうしようと。私、どっちの言うこと聞いたらいいの？ 親の期待には応えたいやん。だけど、お父さんとお母さんがめっちゃ仲悪くて、お父さんもお母さんも勝手なこと言う。でも実は勝手なこと言うことで、親がマウント取り合いしてるねんな。この子の親は私ですよ、みたいなマウント取り合いしているわけ。俺は俺で進路これがいいと思ってる、私は私でこれがいいと思ってる。で、子どもが間で引き裂かれそうになって、お父さんもお母さんも自分にとっては親やのに、これどうしたらいいんですかと。ようよう聞いてみたら、全く進路とは関係ない悩みです。ということが、いっぱいあるんですよ。

先生が怖い、だから学校に行きたくない、という相談もあって。ちっちゃい小学校1年生。これは大変だと思って。学校にどんな怖い先生がいるんやろ、先生が怖いってどうしたのかなと。親御さんに来てもらって。親御さんも「この子、先生が怖いって言ってるんです。学校に行きたくないって。週の半分は行けるんですけど、残り行けなくて大変なんです」とか言うてて。「ああ、そうですか」と。ずーっと聞いていったら、実はそうじゃなくて。お母さんがめっちゃ怖かった、というオチやってんだけど。「お母さん怖かったのに、あんたよう家におれたなあ、週の半分家に居て」。「お母さんの隙をうかがって家出しようとした」とか言うてね。小学校1年生やから、「怖いお母さんどう闘っていくか？」ということにすごい悶々としていて。とりあえず問題をここにあげたかったから子どもが電話してきて、全然違う嘘ついて、ようよう聞いてみたら、実は家庭生活・家族関係のもつれみたいなことをたくさん聴くようになって。これが本当に圧倒的に多いことになっています。

やっぱり最近の傾向としては、「困りの背景」が本当に難しいんですよ。昔々はシンプルだったんです。例えば、貧困とか原因がはっきりしていた。子どものしんどさ、ダイレクトなしんどさがあった。今は、お家もすごいおっきなお家で、みたいな。もう一つ、昔シンプルでわかりやすかったのは、一人親家庭ね。この中にも一人親の人いると思うんです。でも今、別に一人親だから困るとかではなくて、お父さんお母さんがお家にいても、困るものは困るんやね。

保護者の人も色んな所を渡り歩いていて、色んな機関に行って。「うちの子こんななんです」って親からも電話かかってくるから、「直接子どもに会わせて下さい」と言って会わせてくれへんかったら、その相談ほぼほぼ無しになるんです。すぐ子どもさん来させるんじゃなくて、何回か親御さんと面談して、でもやっぱり子どもの声を聴く機関だから、子どもの本音が知りたいから子どもさんを連れてきて下さいと言って、だめやったらなくなるケースも実はあるんやけど、基本的には子どもに来てもらって、子どもさんの本当のことを聴く。「子どもにとって一番いいこと」を考えるから。別に親の相談機関じゃないからね。親は心配やから、色んな相談機関を渡り歩いているケースがあって、親も大変やねんな。

親も大変だというのは、背景が。1個だけ言い訳言わせて欲しいのが、私も自分の子どもが1人しかい

ないんで。昔々やったら、みんなのおじいちゃんおばあちゃんの時代やったら、1つの家庭に子どもが5、6人いてもおかしくない。今、子どもが5人も6人もいたら大家族でテレビに出るぐらいや。大体今、多くても3人ぐらいかなと思うんやけど、少子化で、圧倒的に子どもが1人という人が多いんだよね。そうすると、子育てサンプルが「1」しかないんだよ。私もまだ「1」しか育てたことないから。例えば今から5、6人生んで、4番目とか5番目の子だったら、「もう知らんやん、親としたら適当に育て」ってとなるんやけど、「1」やから。すべての愛とエネルギーを全力で、何ならおじいちゃんおばあちゃんも愛とエネルギーをかけてくれるお家の方が多いやろ。大学入っておじいちゃんおばあちゃん、お祝いくれたやろ。そうやって、愛とエネルギーを1人の子どもに全部ギューッとかけることができちゃうんだよね。そうすると、心配事っていうのが相対的にでっかくなるんだよね。5人も6人も7人もいたら、1人当たりの心配事って、全部見てられへんやん。だけど1人しか見ないから、1人をずっと見てられるから、心配事が全部目に入ってくるわけ。そうすると、親はすごくそれが大変なことだって思っちゃうんだよね。子育てをめぐる環境も、今と昔、全然違ってきているから、親御さん困って色んな機関を渡り歩くということもあります。

とにかく、「子どもの話を聞きます」。18歳まで来ていいから、幼稚園の子も来ますし、高校生も来ます。幼稚園の子なんか「しゃべれんの？」とかやけどね。0歳に子どもの権利はどれぐらいあるかって議論したら、もう夜になっちゃうから話できへんけど、赤ちゃんでも声を聞かなきゃだめだよ。

赤ちゃんって、どうやって意見表明すんの？ 「泣く」。それからもう1個あんで。これは人間にしかないねん。泣くは、子猫でも泣くやんか。もう1個あんねん、赤ちゃんの機能。表情。どんな表情？ そう、賢いね。ゴリラとか霊長類の研究している偉い先生が言っってはってんけど、ゴリラとかチンパンジーとかオランウータンには無いねんで。人間の赤ちゃんだけ、「笑う」という機能がついている。電車の中で座ったら、横に赤ちゃんいて笑われたことあるやろ。その時どう思った？ どんな気持ちになる？

「可愛い～」ってなっさ、誰も絶対腹立ったりせえへんやん。むかついたりせえへん。赤ちゃんが笑っていると見たら、「なに笑ってんねん」と言わへんやろ？ 思わずこっちも笑ってしまったり、今あかんけど、可愛いから思わずちょっと触ってみたいくなるやんか。これね、人間が備えた原始的な機能で、大事な機能なんですよ。「泣く」と「笑う」わね。

何でかという、知ってるかな？ 今子育て大変で。子育ての話、明日の朝ぐらいまでしていいですか（笑）。1歳になったら、母乳やめなあかんの知ってる？ 卒乳といって、無理矢理卒業させるねん。赤ちゃんはいつまでたっても、おっぱいを与えたら与えるだけ飲むわ。うちの子どもも4歳ぐらいまで飲んでた。ご飯食べながら、こうやって服べってやって飲んでました。出たかどうか知らんで。私は、子

どもがいつ止めるんか、どういう理由で止めるんか知りたかったから、卒乳させへんかってん。育児書には卒乳って書いてあってんけど、無視して、この子いつまでおっぱい飲んでるんやろと思って。

ゴリラとかチンパンジーとか、オランウータンの赤ちゃんなんかは、6歳とか7歳ぐらいまでお母さんに抱っこされて、おっぱい飲み続けて大きくなる。もちろん他の食べ物も食べるけどね。人間の赤ちゃんだけ産み落とされてすぐに、保育器とかベビーベッドに入ってるやろ。お母さんの体から物理的に離されちゃうんか。これ、霊長類の中で人間の子もだけ。お猿さん、見たことあるやろ。ニホンザルの赤ちゃん、お腹にぶら下がってるよ。あれが霊長類の基本やねんて。ほんまやったら、ずーっとお母さんにベターってくっついて何年もいるのが基本やけど、人間は社会生活を営む上で、赤ちゃんを手放さざるを得なかった。そうすると、赤ちゃんの方も生きていかなあかんやん。手放されたらコロンと寝たままやんか。そうになったら生きていかれへんやん。だからといって、「ごはん」とかまだ言われへん。

その時に発達させたのが、ギャン泣きやな。めっちゃ泣く。ほんなら、お腹すいたんかなとか、おしめ替えなあかんのかなとなるやん。で、ギャン泣きしただけやったらむかつくやん。泣かれるだけやったらむかつくやん。はい、はい、はいっておしめ替えてケロッとされたらむかつくから、その時にニコッとすだけやん。ニコッとしたらどうなるか、今、彼女が言ってくれたように、「可愛い～」ってなるやろ、みんな。「可愛い～」ってなってもたら、もう1回抱っこしようかなってなるやん。それは別にお母さんじゃなくても、誰でも、赤の他人でも「可愛い～」って思うやんか。ということは、人間の赤ちゃん、実はお母さんじゃない誰かに育てられても大丈夫というふうにつくられているの。

人間独特のそういう機能があってね、「泣く」と「笑う」。赤ちゃんも、「泣く、笑うみたいなことを通して意見を出している」。だからそれを大事にしないといけな。子育てしている人は、赤ちゃんが泣いたら慌てていくし、赤ちゃんが笑ったらかわいいから、思わず頬ずりしたりするわけでしょ。そういう風にして、赤ちゃんが何を言いたいのかなということを掴もうとするということやね。だから赤ちゃんでも「気持ちを聴き取る」、こちらが「聴く」と。赤ちゃんの方は、「聴かれるという経験」をするわけ。「聴いてもらっている、聴かれているな、という経験をする」。それが大事ってことですね。それは他人のみんなでもできるってことやね。

0歳でもそれが基本ですという話なので、5歳でも、つたないながらに色々な話をしてくれます。面白いのがね、5歳児がおばさんにもわかる形で説明してくれます。それがいいですね。5歳なら5歳、10歳なら10歳、15歳なら15歳なりに、おばちゃんの私にもわかるように一生懸命話をしてくれる。それを「一生懸命こちらが聴く」ということですね。

コロナ禍のほんまにど真ん中の時に、オンブズパーソン相談、コロナやから来れへんかってん。2019年

やから、みんな高校生ぐらいやった？ 学校へ行かれへんかった時、あったやろ？ 中3か高1ぐらいやね。それぐらいの時に、4月から5月ぐらいまで学校休みやったん、覚えてへん？ 学校に行けへん4月初っぱな、1年生の初っぱなとかやったらキツイよね。高1の最初とかやったら友だちもでけへんし、中3とかやったら修学旅行があかんくなったりして、大変やったと思うんです。

コロナ禍で私らももどかしい思いしていて。マスク生活、あれも大変やったやん。直接会えへんし、どうしようとなって。1年ぐらい、ほぼほぼもどかしい思いで、遠隔でちょっと話しさせてもらったりとか、もちろんさせてもらっていたけど、対面がなかなかかなわなくて。ようやく2020年にちょっとましになって、ちょっと会ってもいいというので、「会ってしゃべってもいい人！」と中学生を集めたり、中学校に赴いて「話ししてもいいって人、コロナでどうやったか教えて！」というので話を聞いて。今日の「なんでやねん！」にいくんです。

中学生に、「なんでやねん！」を教えて欲しい。「コロナでなんでやねん！」でもいいし、「コロナ離れてなんでやねん！」でもいいからちょっと教えてって、声を聞きました。子どもら最初ね、全然言わへんねん。そらそうやね。思春期やしね。知らんおっさん・おばさん来てさ、「ごめんやけど、“なんでやねん！”って思ってること、教えてくれへん？」と急に言っても、「何？」ってなるから。最初、「全然無いです」、「困ってること無い」と言う。「コロナなのに学校が再開されてありがたい」とか、めちゃくちゃ謙虚なこと言うんですね。「いやいや、そんなこと無いやろ、ほんまのこと言うて」、「ほんまはあるやろ？」とか何回も言うて、嫌な感じでずっと攻めていって。

私がさっき言った、「例えばこんなん」とかって言うたら、中学生がなんて言ったと思う？ 「えっ、そんなこと言ってもいいんですか？」。「例えば、靴下、白なんか嫌とかさあ」とか言うた時に、「えっ、そんなこと嫌って言ってもいいんですか？」と言われた。「当たり前やん。嫌なことは嫌って言っているやで」と言うたら、「先生、見てません？」と言うので、先生座ってはったから、「学校の先生、申し訳ないけど、出て行ってもらえますか？」と出て行ってもらって。「なんでもいいで。これは言っているかどうかなんて迷わず、なんでもいいで」と言ったら、うわーっと出てきたんです。

例えばやけど、親がスマホの検索履歴を見てくるとか。コロナの時に、せっかく休みやったのに、宿題がその分めっちゃある、とか。制服の上にパーカーを着たら怒られるとか、コロナで修学旅行がだめになったとか。次から次へと出てきたんだけど、「こんなこと言ってもいいんですか？」という所で、中学生は留まっていたということやねんな。

そこがポイントで、やっぱり私たちが反省したのは、「“あ、言ってもいいよ”という風に声が聴かれる」ということを、こちらが努力することなく今までできてしまったんやなど。学校教育でも家庭教育で

期テスト、中間テストとか期末テストの時に、こうやって歩いてる監視の先生いるやろ？ あの先生が後ろから見るんや」って。めっちゃキモない？ めっちゃ気持ち悪いやんね。こうやって見んねんて。「うーん、オッケー白」とか言うてね。ほんまにキモいてなって。下着の色まで指定するなんて、とんでもないんやけど。

何で下着、白やないとあかんの？ 何のため？ 何で白と思う？ 何で白なん？ 昔からある。昔は色んな色、たぶん無かったわ。花柄とか無かったわ。柄とかついていたら、みんな見ちゃう。誰が？ おじさん？ 怖いな。明日から西尾先生を見る目が変わるで、怖い、怖い。目立つ？ ベージュやで。妄想があんねんな。どんどんレディー・ガガみたいになっていくからみたい。何で白やろ？

じゃあ、スタッフの人に聞いてみよう。学生の下着、何で白だと思いますか？ 買いやすい、買いにくいとか？ 真っ白買う方がムズいです。統一しやすいね。何で白やと思う？ 無難な色。ほんま？

白って誰が着るの？ 白と言えば象徴は誰や？ 女性で白い服着る人、誰や？ うん、花嫁さん。花嫁さんといえば、どういうイメージ？ 綺麗だけじゃなくて、なんで下着の白と関係あると思う？ 「清潔」とか「純粹」とか、めっちゃキモイイメージが先生たちの中にあって、それで「ブラジャー白」みたいな、ほんまにキモいことになってるのわかりますか？ とんでもない話なんですね、ほんまにね。先生が倒れかけていますけどね。

西尾：もっとはっきり言っていていただいて結構です。

堀家：ほんとにヤバイ感じになってるけど、みんな、全く理解できませんという人もいるけど、学校のイメージを何とかさ、統一感とか連帯感を養うためかなという風に、色んな理由をつけないとやっていかれへんかったやろ。色んな風に理由をつけないと、もうこんなことやってられへん。

体育の靴下、ハイソックス。お金もつたいないわ、体育の時だけはく。ゴムは黒か紺とか、コンビニに売ってるけど、何で金とかやったらあかんのかね？ なんか起こるんかね？ 大変なことが起こるんかね？ という話ですけどね。

部活で吹奏楽は体育会系と思った方がいいやんね。文化系と思わない方がいいんだよね。吹奏楽も怖いよね。声が小さいとかね、色々大変なんです。

これ、なぜ今日意見を出してもらったかと言うと、過去のことやろ？ みんな笑いながら見てくれるねんけど、大事なことはね、わかついて欲しいねんけど、「やられた嫌なことはみんな覚えている」ということやね。こんだけパッと出たということは、「やられて嫌なことはずっと覚えているよ」ということ。わかる？ さっき、私、もしかしたらエレベーターで学生さんを抜かして入ったかもしれんけど、抜かした側は何にも考えてへんねんけど、抜かされた方は「わかってるよ」ってこと。

だから、「子どもの声が聴かれなかった経験」、「してもらえなかったこと」は、いつまでたっても残っている。これを踏まえて、今はいいように考えていた。学校も学校でなんか理由あったんかなとかね。ツブロックとか、何であかんのかもよくわかんないでしょう。要するにチャラチャラしたらあかんていう話でしょう。さっきのキモいルールと一緒にやね。

学校の先生の擁護するわけじゃないけど、1個だけ言うとね、変な理不尽な校則は、先生たちも縛られていて、変えられへんというのがあるねん。だから私みたいに、「公的第三者機関」がいて、学校に「いや、これね、客観的に見たら変でっせ」って。特に法律家・弁護士さんがいると、法律的にはこういう立てつけになっていますから、この校則は必要ないかもしれませんよとか言ってもらくと、学校の先生は安心して「ああ、そうか。これ無しでもやっていけるねんな」っていう風になるし。例えば教育学者から見たら、「これはこういうダメージを子どもたちに与える可能性があるから、こんな校則はもう止めた方がいいですよ」とか、心理学の先生が、「子どもの心理の側面からいうと、こういうルールを設定する仕方・こういう工夫があった方が、子どもは納得してよりルールを守りやすいですよ」とか。そんな話を学校とずーっとしつこくやったりして。第三者に言われると、やっとなえられるというのがある。なかなか変え難い。それは、学校の先生の労働環境とかコミュニティの問題とかがあって、これはまた別の話になっちゃうんで。

西尾：そのあたりが、そこに出ていますね。

堀家：どこですか。

西尾：「学校の校則で決められているから、先生同士も評判を悪くしたくない」。

堀家：引っ張り合ってんねんね。そうやね。これもあるかもしれへんね。先生同士も競争の中にいるからさ。2組の先生がね、3組はちゃんとルールを守っているのに、どうして2組は守らないんですか？と言われたら、あっ、守らせなあかんねんなって。先生もそういう中に縛られているということも、あり得るわな。

でかいのは、安定している学校ほど、校則が変わらないです。やんちゃでどうしようもないって所は校則は緩いし、超進学校も校則は緩い。真ん中ぐらいの偏差値の学校で、特に今問題がないという学校が、一番校則が変わりにくい。

何でなら、これは「複数ダイエットの罠」と呼んでいるんですけど。例えば、ダイエット方法1個言ってみて。食べる量を減らす。運動する。それから？他に何ダイエットがある？水を飲む。油物を食べない。さつまいもダイエット。エステ行くとか、サプリメント飲むとか、色々あるやんか。10キロ痩せようと思って、今言ってくれた7個やるやん、一遍に「よーいドン」。糖質制限して、さつまいもだけ食

うて、油物控えて、運動して、サプリメント飲んで、エステ行って、やりました。5キロ減りました。でも目標までいってへんから、あと5キロ減らさなあかんとなった時に、この7個のうちのどれを止めたらいいかわからない。7個一遍に始めちゃったから。糖質制限止めたらまたリバウンドするかもしれへん。運動止めたらまたリバウンドするかもしれへん。サプリメント止めたらまたリバウンドするかもしれへんというので、全部を止められないんですよ。わかりますか？

だから、変な校則50個ぐらいあるのは、50個のうち1個でも2個でもとったら、学校がガタって傾いて、子どもが荒れちゃうかもとか、子どもの学力が下がっちゃうとか。何の根拠も無いで。でも複数ダイエットの罠と同じで、そういう心理で止められないんですよ。今がいい感じになっているから。「いい感じこそ止められない」というのがあって、なかなか校則が変わらないというのがあります。

第三者機関の重要性は、「“独り言”や“泣き寝入り”で終わらせない」ということです。「どこにもくつついていない」。例えば、教育委員会と癒着していたら教育委員会の思うつぼやし、学校と癒着していたら学校の思うつぼやし。私は川西市からお給料は頂いてますけど、川西市民でもなければ、川西に子どもを通わせているわけでもなければ、別にどこに権力が傾いている人間でもないの、完全なるよそ者として何か言えるというのはすごく言いやすかったし、話がしやすかったというのもあります。

オンブズパーソンはそれぞれ専門性は持っているんですけども、それを誇示するというのではなくて。私だったら教育学やから、「教育学的観点ではこうですから、こうしなさい」と言うんじゃないくて。さっき言ったように、相談員さんを中心に色んな人で組織的にまわっているので、そういう機関であるということは良かったし、何より「子どもにとって一番いいことを考えよう」と思ったら、「どっかに依存していたらだめ」なんですよ。やっぱりそこの関係を考えちゃうからね。だから、「子どもにとって一番いい」けど、学校には学校の制約があるやん。さっき言ったように、校則の話にせよ何にせよね。

そんなこと知ってますわ、百も承知やけど、申し訳ないけど、言うて悪いけど、「子どもにとって一番いいことは、今、先生がやっているそれと違うで」ということをはっきり言えるという意味では、第三者性があるというのはとても良かったように思っています。今だにそうやって色んな話をした学校の先生とは仲良くて、先週も川西の小学校のご縁があった先生の所にただ単に遊びにいった、2時間位おしゃべりしてきました。

子どもの相談事をやるやん。そしたら後から、「うちの子何て言ってましたか？」という親がめっちゃ多いねん。だけど、スマホの履歴とか見られたら嫌やろ？ 秘密のことを秘密の人に打ち明けているのに、秘密を守ってくれる人に打ち明けているのに、それをばらしたらあかんやん。お父さんとかお母さんとか来て、「うちの子何て言ってたんですか？」と聞いても、「絶対に、そんなもん言えません。言える

わけないじゃない。ここは川西のオンブズパーソンですよ」ってことで突っぱねて、子どもの秘密を完全に守る形です。

学校とセッションする時も、子どもに「来週、学校の先生にこういう話をしてこようと思うんやけど、どう思う？」と言ってね。「ここまで言っていていいけど、こっからは言わんといて」と子どもが言って。

「わかった。来週はここまで言うわな」みたいな話を、相談の回数がめちゃくちゃ多かったんやと思うねんけど、じっくり相談しながら「子どもにとって一番いいこと」を探す。「時間と手間をかけて、一番いいことを探す」ということをやってきたように思います。

とはいえ、川西オンブズも色々直面している問題はあって、なかなかうまくはいってません。いってないといつかね、正直言うと、私も失敗したケースがたくさんあります。だって、子どもって一括りにできないやん。「子どもにとって一番いいこと」を今のメンバーで探そうとするけど、ほんまに100点の答えがいつもあるなんて思っていたら、こんな仕事やめたらよくて。「これあってんのかな？ これあってんのかなあ？」って子どもに尋ねるけれど、子どもも言うこと、毎日変わるからね。「これで良かったかな？」と思ったら、「次の日見たら違う」みたいなことで。しんどいんやけど、やっぱりそういう体制でやっているしんどさあるんやけど、それを「丁寧さ」という風に読み替えて、やり続けていかないといけないなと思っています。

でも今の置かれている状況の問題でかい。さっき言ったように、私は子育てサンプル「1」やっていう話もちよとしたけど。全部じゃないけど、ネグレクトや虐待・複雑な家庭問題・いじめ・不登校・学校病理がいまだにある。不登校なんか、全然下がることないやろ。不登校なんてさ、学校のものが今の子どもにマッチしてへんからやろ？ 不適應とか平気で言う人いるけどさ、子どもが適應でけへんから不適應なんじゃなくて、学校がマッチしてへんやん？

だってさ、45分チャイム守ってさ。今日は偉いね。みんな全然立ち歩かへんやん？ 大学生でも、授業中こうやってしゃべっていたら、「先生、トイレ行っていいですか？」とか言うやつおるやんか。私はね、「あかん、あんたの生理現象なんか知らん。勝手にしてくれ」と言うねん。それってたぶん、学校でそういう風に教わってんねんな。やっぱり学校がそうやって子どもの行動を制御して、コントロールして、制限してやってきたから、みんなは制限され慣れているんだよね。大学入っても「トイレ行っていいですか？」とか言わなあかんし。電車の遅延証明をめっちゃ必死で出すよね。「先生、遅れます、遅れます、遅れました」。別に1回ぐらい遅れても構へんやんとか言うけど、「出さないとだめなんです、だめなんです」って、遅延証明いっぱい出してくる。

そんなん、マッチしてないやん。今のみんなの体にマッチしてへんやん。だからもう学校行かれへん、

行かへんことを選択するわけでしょう。いじめも対策取っているけど、全然うまいこといってないから減らないわけでしょう。いじめより面白いことがないからやん。いじめるやつ、リア充じゃないからやん。わかるね？

うちの大学、ちょうど卒論、20日提出やねんけど、筋トレに関する研究やってる学生がいる。めちゃめちゃゴリゴリマッチョやねん。筋トレやると自尊感情が上がって、仕事の効率があがって、何とかかんとかと言うからさ。私が「いやいや、ちょっと待って。お金なくて、友だちおらへんだけやろ？ 暇なだけやろ？」と言ったら、すごい傷ついていました。環境因子というのがあって、環境因子によって1年間でそいつはゴリゴリマッチョになった。そのきっかけをほどいてみたら、筋トレ始めた理由が彼女に振られたってことやった。「自尊感情上がったか？」と言うたら、「今先生に言われてめちゃくちゃ下がりました」と言っていました。

学校や社会の中で「周辺化されるリスクの高い子ども」、障害のある子どもとかもそうやね。外国につながる子どもとか、暮らしの問題に、日本はうまく着手できていないってことがあります。事実、さっき言った少子化とか、格差の拡大とか不景気、ギスギスした社会そのものが、そんなものの中にみんなが投げ込まれているわけやんか。私もそうやけどね。その中で「子どもに一番しんどいことが来てへんか」と考えなきゃいけないなと思っている所です。

「なんでやねん！」やねんけど、要するに「“なんでなん！”って怒っている“なんでやねん！”」でもあんねんけどさ、関西だから「“なんでやねん！”と突っ込む“なんでやねん！”」もあるやん。

最後のまとめですね。ちょっとシビアな問題もあるんやけど、やっぱり今出してくれた「理不尽なこと」って、「突っ込みどころ満載」やろ？ 「突っ込みどころ満載」のものは、「変えていける余地がある」もんやと思って。「なんでやねん！」みたいなことを、笑いながらでいいので、「おかしい、理不尽や」って怒り狂ってもいいんやけど、これ「ツッコミ案件」やから「ちょっとずつ工夫で解消していけるもんがある」と違うか？、と考えると生活するとか。

この中に、教職目指しているとか、保育士になりたいという人、子ども学を究めたいという人もいると思うんやけど、「子どもと大人の関係の当たり前みたいなこと」も、ちょっと「なんでやねん！案件」。

「これあるよね？」と、ぜひ探してもらったらいいいのかなと思っています。今日の授業終わってから、これも、これも、「なんでやねん案件やな？」とか。親子関係や大学の先生と学生さんのような、「“非対称な関係”」の中での“なんでやねん案件”」みたいなことを、ぜひ、今日お家に帰って見つけて頂ければいいかなと思っています。大体70分ぐらいしゃべったかなと思うんですけど、いかがでしょう。

西尾：どうもありがとうございました。Moodle、今の同じ所で構わないので、皆さんから質問などがあれ

ばこの時間で少し入れてもらって、またそれに対して答えてもらおうと思っています。同じ所に入れて下さって結構です。

その間に、僕の方からお尋ねしてもいいですか？ オンブズパーソンの所に、相談員さんの所に電話をかけてきたりするの、やっぱり子どもが一番多いですか？

堀家：今は保護者が一番多いです。「子どもが学校に行かない」というスタートが一番多いです。「子ども」が困っているんじゃなくて、「親」が困っているということですね。それは「あなたの」困りですよ。ねということで、「子どもさんを」寄こして下さいという風になります。それが一番多いです。

西尾：制度として始まった時には、一般的には「オンブズマン」という言い方だったんですけど、「オンブズパーソン」と呼ばれるのは何でなんでしょう？

堀家：「マン」じゃないからじゃないですか？ ここ、ほんまに女子ばかりでさ、今日ね、来てすぐお弁当を10分ぐらいで食べさせてもらって、食べながらこの調子でずっとしゃべっててん。そうしたら、隣の部屋から「キャー！」って声が聞こえたんだよ。それでスタッフの人に、「えっ、今の学生さんですか？」と聞いたら、「そうだと思いますよ」と言っってはって。私はさ、その「キャー！」という声にちょっとドキドキして。なぜドキドキしたかという、うちは共学で、なんとうちのゼミ生はここ10年ほとんど野郎やねん。男ばかり。だから、部屋が部室みたいな臭いしてるねん。そんな中で甲高い「キャー！」っていう声を聞いたことが無かってん。

私はオンブズウーマンかと言われると、もうウーマンでもない、もはや何だろうな？ 性別を超えた生き物になっとるんやけど、「キャー！」には戻れへんねん。けど、1個言うとなあかんと思うねんけど、ジェンダーの話しでしたら、また来週ぐらい来ていい？ 3時間ぐらいしゃべれる。ジェンダーの話もめっちゃしたいんやけど。

世界中の国の女性の声を集めたら、日本に暮らす女の人の声が一番高かってん。お家にお母さんいる人、わかると思うねんけど、電話の時の声。そうそう。今言うたの誰？ 手上げて、もう1回言うてくれへん？ それやん。それ、やってるやろ？ 横で「はよご飯食べや！」とか言ってるのに、「もしもし、お待ちせしました」ってやってるやんか。あれよね。あれ、なんでやんの？

骨格的に違うんやと思う？ お隣の韓国とか中国とか、DNAとか調べたらほぼほぼ一緒やんか。それやのに、日本に暮らす女性の声が一番高いのはどうしてや？ どうしてお母さんはああなるの？ あのスイッチは一体なんや？ みんなもそうやろ？ 恋愛対象は別に性別問わずやし、恋愛しなくても全然構へんと私は思っているけど、例えば異性の人たちとどっか行く時に、声がちょっと高くなったり、何回もトイレへ行って自分の顔を見たりとか、思い当たる人は笑ってます。「そなんんするのは、なんでや？」とい

うことやね。それはみんなが悪いんじゃないねん。みんながせこいんじゃないで。あなたがせこいんじゃない、心配せんでもええ。なんでか。それは何が悪いかって、男性が日本に暮らす女性に求めるからでしょう。女性に何を求めているの？ 可愛さやんなあ？ 顔はもうどうもならんから、声だけでも。お母さんは電話やとバレへんから、夫の同僚とか、学校の先生とかが出た時にそうすねやろ？

これは本当にジェンダーの話をしとくとあれなんで。人間やということ。パーソンだからね。「オンブズパーソンは人間や」という話になるのではないかなとは思います。ジェンダーの話をししたら本当に明日になっちゃうから、もう止めときます。

西尾： 学生からいくつか質問がきています。

「川西市以外で子どもも親も相談できるのか？」ということとか、「堀家先生の一番の“なんでやねん！案件”が知りたいです」。

堀家： 「下着の案件」はほんまにキモいと思っています。

それから、相談は、川西市に通っているか、川西市に住所がある子しか無理やねんな。川西市内に学校があつてそこに通っている子やったら、他市に住んでいてもOKなんや。市の権限で制度改善の所に、市に対しては文句言えるねんけど、私は国とかにはさすがに言われへん。岸田さんとかに電話して「これ止めて下さい」とか言うのは無理やねん。川西市縛りやから。川西市内に通っている子どもという制限があつて、だからこその他の自治体にもどんどんきたらいいのにとと思っています。

「なんでやねん！」があり過ぎ。「なんでやねん！」過ぎるからね。日本の学校教育はマジで「なんでやねん！」。例えば、「和式便器多すぎるのなんでやねん！」とかね。「福祉や教育にお金をかけないのはなんでやねん！」と思っています。国策のミスですよ。少子化も国策のミスだし、やっぱり「国がなんでやねん！」と思うのが一番でかいですね。

西尾：「オンブズパーソンをやり始めたきっかけは？」

堀家： あー、これね、ナンパされたんですよ。私の大好きな先生がいてね。発達心理学者の浜田寿美男先生という超有名で、もうおじいちゃんですけど。私、若い時からその先生の本を読んでいた。一般書がたくさん出ていて、めっちゃ読みやすい日本語で書いているから、ぜひ子どもの発達に興味のある人は浜田寿美男を調べて欲しい。

ある日、浜田寿美男先生から電話がかかってきてね。「暇？」って言うから、「暇です！」って。「ちょっと来てくれへん？」、「行きます！」、「一緒に仕事しようか？」と言われて「はい！」って言ったら、先生は1年後に辞めてしまつてね。騙されたんですけど。急にご縁があつて、お声がかかって。私、西宮市民やねんけど、川西市にそんな制度があるなんて全く知らなかった。本当に不勉強なままやりまし

たが、すごくやって良かったと思っています。きっかけはそうですね。今、私よりもっとスペシャリストが入っていますよ。

実際に変わったこと、あるよ。校則までは変わらなかったけど、「学校のルール」が変わった。それから「先生のものの見方」を変えてもらったことはたくさんあります。給食のアレルギーがある子は、給食食べられへんやん？ そういう時にどこまで配慮するかというので話をして、もう少し手厚い配慮を下さいという風にして、それは変わったということなんかもあります。

学校も最初は、私らが回っていらんこと言いに行くから、嫌々受け入れてくれはんねんけれども、さっき先週も行ってきたと言うように、口に出さへんだけで、やっぱり先生たちも悩んでいるんだよね。実は薄々思っていることを私らが言語化して、「子どものためにこうした方がいいですよね」みたいな話をするから、最後はそういう所で落ちてくれるねんね。「子どもにとって一番いいこと」という所で落ちてくれるから、であるならば「こういう風にしましょう」ということで、例えば、別室での支援の仕方なんかも工夫をして下さるようになったりもしました。

西尾：「子どもが学校に対しての不満を相談しに来た際に、どのように対応するのか教えて下さい」。

「“子どもの理解不足”ではなく、“本当に理不尽なことが学校で起きていること”への相談の対応が気になりました」。

堀家：ひとまず、「子どもが何言いたいんかな？」ということをして「めちゃくちゃ丁寧に聴く」ようにしています。まずは「子どもを信用する」ようにしています。もしかしたら 100%嘘ついているかもしれないけど、例えば嘘で絡んでくるというのも、「何か意図がある」わけだよね。嘘の裏に何か思いがあって、要するに全部、どんな絡み方にせよ、「基本はSOS」なんやな。SOSの出し方が嘘であったり、本人の理解が不十分な状態でモヤモヤしてきてという状態があったら、ほんまは自分が何に悩んでいるかわからへんまま、なんか知らんけど電話してくる案件ってめっちゃ多いんです。子どもが十分に理解できているなんてこと、そもそもあり得なくて。だからといって、私が十分に理解できていることもあり得ないから、だから2人で話し合っただけでほんまの所を見つけていこうみたいなことにはなるんです。

子どもって、確かに理解が十分じゃないかもしれない、あるいは本人さえわかっていないかもしれないこともあるという前提で、まずは「信頼」して、「子ども理解をどう深めていくか」ってことやね。これ、子どもの嘘一つとっても、「あんた、嘘ついてるやろ？」と言うたら、話終わるから。じゃなくて、「“この嘘を通して私たちに投げかけたいことはどういうことなのか？”」ということを知ろうとしていく」ということやな。私は子どもではないんやけど、「子どもの立場になって見ようとする」ことで、何とかしていかないといけない。確かに「子どもから見たら理不尽やな」って。大人から見たら良かれと思

ってやっているけれども、子どもからしたら納得できひんね。

だって、家でゲームめっちゃしてるから、そっちの方が楽しいやん。「なんで学校へ行かなあかんの？」と言われてたらアウトやんか。学校に行くことそのものやったら、ゲームが大好きな子どもからしたら絶対理不尽やん。だけどそういう風にも言ってられへんから、確かに理不尽かもしれない。でもこっちに楽しいことをもっと用意したらどうか、学校、どんなことがあったら楽しいとか、色んな話をしているながら、子どものモヤッとしていることを解いていったり、子どもが言語化できないこと、あるいは子どもが誤認していることなんかを話をしていくことはありますけれども、だいぶ時間がかかりますし、百発百中ではないですね。

西尾：「大人が聞いても理不尽だなと思うようなことに対して、法律家が出ていくこともあるんですか？」

堀家：あります。今はすごく多いです。例えば体罰案件とか。体罰なんて、アカンと法律で決まっているからね。法的根拠はどうなのかということを求めてくるから、今、弁護士さんが引く^{あまた}手数多で。法的根拠を示して、これはだめですと言ったり、これはOKなんですということをすごく求めてきはりますね、学校が特に。保護者、大人はすごく求めます。

西尾：「私は人の相談を受けるとその人に共感してしまい、苦しい気持ちを持ってしまう。子どもの話を聞いて引きずることありますか？」

堀家：そうなんだよね。カウンセラーに向いてない人やねん、これ。わかる。自分がそこに憑依しちゃうから。一緒になって、気持ちがしんどくなっちゃうやんか。カウンセラーに向いている人はね、私。ああ、わかる、わかる、わかるって言いながら、実は全然わかってへんしね。全然シンクロしてへんしね。本当にこれはカウンセラーにとって必要な技能なんやけど、その人に全部持っていかれちゃったら、ミイラ取りがミイラになっちゃうから、絶対だめなんだよね。

話す時の技法の大事なことは、例えばお月様が、太陽でもいいんだけど、「あの月きれいやね」って友だちと帰り道でやったことあるやろ。「あれ見て。今日の月めっちゃ綺麗」とやった時にやるようなやり取りで、この月のところに問題を置いて、その問題を持っている人、それから聴く人と2人で、「あれについてやけどさ」という形で話をしていかないと、全部取り込まれちゃう。

その子はすごくしんどくて来ているから。「しんどい、しんどい、しんどい、助けて」って。溺れている人を助けようとして一緒に溺れるパターンやん。そういう風になっちゃうから。そうじゃなくて、こっちは泳いでいる、溺れてない。あっちは溺れているとなった時に、「この問題を違う所に置いて、この問題を一緒に見る」という風にしないと取り込まれちゃうから。お友だちの話を聴く時の技法としても使え

と思うので、「うんうんと言いながらも、アドバイスをし過ぎない」ということも、そうやな。アドバイスをするとのめり込んじゃうから。

そのアドバイスが必ずしも友だちに適切とは限らないし、実は友だちは答えを持つとる。わかる？ 恋愛とかの悩み、「どうしよう、もう別れた方がいいかな？ うち」とか言いよるけど、絶対別れる気ない。別れるタイミングは自分で決めているはずやから、「どうしよう、どうしよう」とか言ってるけど、「うんうん、そやなそやな」と聞いといて下さいね。

西尾：先生、どうでしょう。理不尽なこととして、「卒業に必要な単位 124単位は別に、卒論を書かないと卒業できないとか、それなら卒論すべてと全部決めたらいいのに」と言われましたよ。

堀家：なるほど。面白いな。ここは 124単位と別に必修で卒論があるんですか？

西尾：いや、124単位の中に含まれています。

堀家：中に入ってるの。でもね、うちも、教育学部は卒論があるねん。さっき言うたように、20日締め切りやねん。全然できてへんから、10人が10人とも1文字も持ってきてへんから、今、めちゃくちゃ困ってるけど。

私ね、納得させられにくいねんけど、「絶対賢くなるから、騙されたと思ってついてきて」ってうちのゼミ生には言ってる。それと、4年生になったらもう単位取られへんねんな。もう取ってるから。124単位の半分以上、すでに1・2回生で取ってるやろ。みんな2回生の時点で100近く、80・90ぐらい取っているのかな、そうになっているはずやから、最後4回生で取る単位なんて数単位やねん。でも学費変わらんやんか、4年間一緒やろ。例えばここの学費が100万として。4年間で500万ぐらいやな。下宿させてもらっている人は1,000万円や。そのお金をどう使うかって話やけど、4回生だったら授業4個か5個ぐらいいかね、100万で買うわけやんか。簡単な話したら。「ほんなら、卒論書かなもったいないない」とか言ってるし。卒論書くと書かへんで、全然ちゃうで。

うちね、通信の学生さんの卒論を任意にしちゃってん。そしたらあつという間に力が下がったで。論理的な思考性とか、本を読むという習慣が圧倒的に低くなっちゃったから、文章に触れる、読み書きしたものに触れる機会がめちゃくちゃなくなっちゃって。だからにわか勉強でも、実は卒論って意外と賢なるといふか、それはやったらわかるねん。卒業してからも、今この時期、うちの卒業生が毎年何人も手伝いに来てくれるねん。それは卒論を通して色んなメモリーができたからやと思うねんな。「先生、この時期卒論やろ」って何人も必ず連絡くれる。「後輩手伝うわ」って来てくれる。うちはそういうカルチャーがすでにできあがっていて、卒業した先輩が後輩を手伝う。卒業して教員とかなっているから、「インタビューいいですか？」「OK」となったりして、そういう循環ができていのもあって、私はお勧めしやすい。

騙されたと思ってやって、と言ってるねん。

この大学では、西尾先生がどういう卒論書く文化を作ってくれるかによって、みんなのやりやすさが全然違ってくるし、甲南女子、理不尽なことを言う機関があるんじゃない？ 例えば59点で落とされたら異議申し立てできるやろ？ 「私こんなに頑張ったのに、何で59点で落とされたんですか？」っていうのを尋ねる機関が学務上あるはず。それに対して採点した先生が「実はあなたはこういう根拠で59点です」と言ったり、「私の採点ミスでした」という風にしてやれる機関があるはずですよ。どこにでも保障されているはずやから。そういう所を含めて何故なのか、履修をめぐる何故なのか、「なんでやねん！」は、ぜひ大学に言っていく権利ありますよ、500万も600万も突っ込んでるんだから。ぜひ言ってみて下さい。

西尾：そろそろ時間になりました。先生、どうもありがとうございました。

堀家：ありがとうございました。

西尾：最後ですけど、皆さんにとって「自分の権利をどう守っていくか」とか、「自分の学びの権利をどう守っていくか」、あるいは「今までどんな理不尽なことにあってきたか」を考える機会になると同時に、今度皆さんが大人になった時に、「子どもたちの権利をどう守るか」ということだけではなくて、「どう損なわないのか」ということも考えないといけない立場になるんだということを、覚えておいてもらいたいと思います。今日は先生、本当にありがとうございました。

堀家：ありがとうございました。

西尾：皆さんもう一度拍手を。

堀家：ありがとうございました。